

「京都市はぐくみプラン(京都市子ども・若者総合計画)(案)」に関する
市民意見募集の結果について(速報値)

1 市民意見募集の概要

(1) 募集期間

令和6年11月20日(水)から令和6年12月22日(日)まで

(2) 御意見数

意見者数：621人(通常版239人、やさしい版382人)

意見総数：1,883件

(3) 御意見を頂いた方の属性

ア 居住地

| 京都市内 | 京都市外 | 記載なし |
|------|------|------|
| 550人 | 33人 | 38人 |

イ 年齢

| 5歳以下 (小学生未満) | 6歳～12歳 (小学生) | 13歳～15歳 (中学生) | 16歳～18歳 (中学卒業～18歳) |
|-----------------|-----------------|------------------|-----------------------|
| 8人 | 201人 | 49人 | 88人 |
| 19歳～22歳 | 23歳～30歳 | 31歳～35歳 | 36歳～39歳 |
| 51人 | 23人 | 22人 | 31人 |
| 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳～ |
| 76人 | 21人 | 10人 | 9人 |
| 記載なし | | | |
| 32人 | | | |

ウ 職業等 ※通常版のみ

| 会社員 | 公務員 | 自営業 | フリーター | 主婦・主夫 |
|-----|-----|-----|-------|-------|
| 66人 | 8人 | 9人 | 2人 | 20人 |
| 学生 | 無職 | その他 | 記載なし | |
| 62人 | 3人 | 33人 | 36人 | |

2 御意見の内容

| 対応分類 | 件数 |
|------------------------------------|------|
| 計画(最終版)に反映するもの | 360件 |
| 計画(最終版)には反映しないが、 意見に対して回答するもの | 363件 |
| 計画(案)に記載済み又は趣旨に含まれ、 賛同いただいているもの | 981件 |
| 今後の取組の推進に際して参考とするもの | 179件 |

3 計画（最終案）へ反映する意見とその概要について

(1) プラン全体

| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|-------------|---|---|
| — | 施策の具体化について | 取組がそれぞれどういったことを行っていくのか、想像しにくかった。 経済的負担の軽減などざっくりしすぎているところは詳細に市民に説明すべき。 計画の実現には具体的なアクションや成果指標の明確化が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組は施策一覧（別紙）に記載 |
| — | 施策の推進について | 5年間の計画のステップを知りたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 施策数を、最終とりまとめ時に、施策一覧（別紙）の冒頭に掲載予定 |
| — | 現プランの進捗について | 前のプランの達成度などがあると比較しやすい。 令和2年にはぐくみプランを策定し、推進してきたとありますが、市民ひとりひとりが言葉だけでなく、実感できるように意識化する（例：ポスターにより度々目にする）ことがなされてきたのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> 現はぐくみプランについては、別冊として進捗の状況を整理 |
| — | 本冊の構成について | イラストや図などがあればもっとわかりやすいと思う。 文字が詰め詰めで見にくいところがある。 全体的に見づらい。読みづらい。 (やさしい版) | <ul style="list-style-type: none"> 本冊のデザインの中で対応予定 全体イメージは本冊（資料2） |
| — | | 絵が欲しい白黒をカラフルに。文字が見にくい。 | <ul style="list-style-type: none"> プランのやさしい版を作成し、反映を予定（資料3） |
| — | 京都の子どもについて | 京都らしいことをもう少し計画の基本に入れてほしい。 文化や観光、歴史的に京都の子どもがどうだったか。 | <ul style="list-style-type: none"> 京都市の特色として記載しているほか、市長挨拶文でも記載 |
| — | 若者施策について | 青少年向け若者向けのサービスは何があるのか知りたい。 青少年・若者層への取組が全体的に少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 施策一覧（別紙）にて整理を予定 |

(2) 第 I 部

| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|---------------------|---|------------------|
| 10 | 策定の基本理念について | 「生まれ育ってよかった故郷・京都」や「子どもから大人までみんなに愛される京都」などのように、もっと市民目線の言葉を。 基本理念において、もう少し市民目線の願いが実現される表現になると、結果的に選ばれる京都になる。 | ・本冊 (p10) の記載を修正 |
| 10 | 「子ども・若者を取り巻く現状」について | 状況 1 ～状況 5 を各施策とリンクできるような工夫を。 | ・本冊 (p10) の記載を修正 |

(3) 第 II 部

ア 第 1 章

| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|---|---|--|
| 12 | 公園の整備について ※ 公園の老朽化改修、遊具の設置・改修、トイレ改修、Park-UP 事業 | 公園のトイレを綺麗にしてほしい。 遊具の設置が充実していない。 特に 0 ～ 2 歳の子が利用できる設備や遊具を。 北鍵屋公園にコンビニと屋内施設ができましたが、こういう取組はすばらしい。ほかの公園でも、できるところで広がっていくといい。 夏は噴水がでて水遊びができる場、西京極の運動公園もあればいいのに。 | ・内容は本冊 (p12) 「こどもまんなか公園魅力アッププロジェクト」として掲載 ・施策一覧 (別冊) に追記 |
| 12 | 西京極総合運動公園について | | ・本冊 (p12) 「運動公園の再整備」を具体化 ・施策一覧 (別冊) に追記 |
| 13 | 子ども・若者の意見反映における記載について | 「事業個別では意見の聴取を行ってききましたが」を「事業個別での意見の聴取に一層努めるとともに」等と変更すべき。 | ・本冊 (p13) の記載を修正 |

| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|----------------------------|--|---|
| 1 3 | 子ども・若者の意見聴取について | 意見形成や検討反映、フィードバックにおいて市独自の計画がないように思えた。 「検討・実施」、せめて「検討・施行」くらい踏み込んで書いてほしい。 児童養護施設の職員さんがみんなの話を聞かずに無視することがあるから、聞いてほしい。 学校で意見を書く紙を配ったり、インターネットで簡単に意見できるシステムを作ったりしたらいいと思う。 もともと市民に対してこのような政策を行っているのを宣伝するべき。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本冊 (p13) の記載修正に加え、施策一覧 (別紙) に追記 |
| 1 3 | 子ども・若者向けパブリックコメントについて | GIGA 端末から意見を出せるよう、生活や学活、総合学習の時間に指導してもらえればいいと思う。 公立・私立問わず、各学校にパブコメ用意見箱など設置してはどうか。SNS を使って周知するもいい。 確実に小中学生にも意見募集を認知してもらええる工夫を。 | <ul style="list-style-type: none"> ・やさしい版の作成により幅広い年齢層へ訴求 ・今回、GIGA 端末及び保護者連絡ツール「すぐーる」において配信 ・その他、私立・国立の各小中学校に対して周知協力を依頼 ・施策一覧 (別紙) に追記 ・施策一覧 (別紙) に追記 |
| 1 3 | 「聴く側」の意識醸成について | 子ども基本法の周知、子ども・子育て支援の活動における「こどもセーフティデー」が支援者研修に組み込まれることを期待。 | <ul style="list-style-type: none"> ・施策一覧 (別紙) に追記 |
| 1 4 | 子ども・若者の居場所以について | 場所の例を教えてほしい。 地域密着型のカウンティングスペースや、自由に話せるコミュニティの提供を検討いただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本冊 (p14, 15) の各コラムを作成したほか、やさしい版にて例示を予定 |
| 1 4 | 青少年活動センターの設置 ※ 未設置区への設置 | 青少年活動センターを全区に整備してください。 右京区には青少年活動センターがないので、それに代わる何かを作ってあげてほしい。 西京区には青少年活動センターがないので作ってほしい。 左京にも青少年活動センターをつくってください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズや課題を踏まえながら、近くに青少年活動センターがない地域に向く「YOUTH STAND」等によるアウトリーチ事業を実施しているところ ・本冊 (p14) 、施策一覧 (別紙) に追記 |



| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|------------------------|---|---|
| 17 | 保育士の処遇改善について | 賃上げは特に力をいれてほしい。 保育園に勤務する先生の処遇改善をお願いします。 この大変さ、ストレスで収入が見合っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 本冊 (p17,27) の記載を修正 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 17 | 「京都ならでは」の遊びと体験について | (やさしい版) 記載が分かりにくい。 せんすとか作れると思った。畳の体験ができれば。 和菓子作りができるところや和紙を作るところを増やせばいい。 | <ul style="list-style-type: none"> やさしい版において、写真等の例示を増やし対応予定 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 18 | 多様な支援ニーズへの支援について | (やさしい版) 目標5がわかりにくかった。 | <ul style="list-style-type: none"> やさしい版において、相談窓口を取りまとめたページを作成予定 |
| 18 | 多様な支援ニーズへの対応における記載について | 早期の課題から支援の順に「児童虐待、いじめ、不登校、ひきこもり、貧困、障害、ヤングケアラー」のほうが良い。 「支援ニーズや抱える課題」は「抱える課題や支援ニーズ」とするほうがよい。 | <ul style="list-style-type: none"> 本冊 (p18) の記載を修正 |

イ 第2章

| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|-------------|---|---|
| 20 | 木育の実施について | 子どもは植物と食物と育ちます。そういうこともプランに組み込んでほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊 (p20) 「(2) 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり」の取組 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 20 | 外国籍の子どもへの支援 | 予算をつけて、せめて従来のサポートの復活、また継続的に「学習日本語」の積み上げが出来るような施策を。 外国から来られたご家族に母語、あるいは最低でも、英語ならではの丁寧な日本の教育体制の説明、進路指導ができるように、通訳の派遣、その支援を。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊 (p20) 「外国籍の子ども・若者への支援や、多様な性のあり方などの周知啓発」として掲載 施策一覧 (別紙) に追記 |

| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|------------------|---|---|
| 20 | 性の多様性に関する施策について | LGBTQの人々が交流できる場を作る。 LGBTQに関する内容が不足していると感じた。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊 (p20) 「外国籍の子ども・若者への支援や、多様な性のあり方などの周知啓発」として掲載 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 22 | 児童養護施設等の小規模化について | 小規模化するのであれば、支援の必要な子どもをサポートできる体制を。 | <ul style="list-style-type: none"> 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 24 | 道路等の安全対策について | 道路の安全対策など、地域全体の基盤を支えるインフラ整備に充てるほうが、はるかに有意義で効果的。 道路の整備、歩道橋の改修など、ハード面での支援を 通学路を整備しよう。 街灯の整備が必要ではと思います。 | <ul style="list-style-type: none"> 通学路を含め、道路の補修等については日々実施しているところ 気づいた不具合箇所を報告し、市が対応する「みつけ隊アプリ」をリリース 本冊 (p24)、施策一覧 (別紙) に追記 |
| 24 | 日々の生活の中での安全について | 車が多くて出歩くのは危ない。 もっと治安をよくしたい・事故や火事などをなくしたい。 ふしんしやがでないかふあん。たすけあってへいわにすごしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 本市では、生活安全 (防犯・事故防止) 基本計画を推進し、犯罪抑止・交通事故防止のための環境づくりに取り組んでいる 本冊 (p24)、施策一覧 (別紙) に追記 |



| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|--------------|--|--|
| 24 | 受動喫煙防止対策について | 路上喫煙防止禁止区域拡大して若者や子供に悪影響を及ぼさないようにしたいだけだと嬉しいですが、タバコのない場所（特に家庭内など）での喫煙・タバコ（受動喫煙）は止めるべき、との周知徹底が必要です。 | <ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙防止対策は、「健康増進法の一部を改正する法律」が令和2年4月に全面施行されて以来、本市としてもその周知啓発等に取組み組んでいる 路上喫煙防止については、「路上喫煙等の禁止等に関する条例」に基づき取り組みを推進している 本冊（p24）、施策一覧（別紙）に追記 |
| 25 | 不妊治療施策の充実 | 不妊に悩む夫婦に対する施策が不足。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊（p25）「ア安心して妊娠・出産できる支援の充実と体制強化」の取組 本冊（p25）、施策一覧（別紙）に追記 |
| 28 | 学校部活動について | 地域の中学校の部活動が次々と廃部。中学校の部活やクラブに、華道や茶道、伝統工芸品をつくるなど京都の伝統的な文化に触れられるものがあるとよい。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊（p28）「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方見直しによる、スポーツ・文化芸術活動の環境整備」として掲載 施策一覧（別紙）に追記 |
| 28 | 質の高い教育環境について | 高大連携教育の強化や堀川高校の学校改革モデル校の拡大、steam教育の導入など、教育に力を入れるべき。「子育てしやすいまち京都」として学力向上と謳っているが、その通りと思っただけは無い。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、「ア 子どもたちが夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力をはぐくむ教育の取組 施策一覧（別紙）に追記 |



| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|-----------------|--|--|
| 28 | 意見の概要 食育について | 寄せられた意見例 小学校の給食では、和の献立が出ていますが、子どもたちも楽しみにしていました。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、「ア 子どもたちが夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力をはぐくむ教育の推進」の取組 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 28 | 子どもと向き合う環境づくり | 子ども一人ひとりに向き合って下さる時間が増えればいい。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、「ア 子どもたちが夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力をはぐくむ教育の推進」の取組 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 28 | 学校統合の推進について | 各学年が1クラスしか少ない学校は統合を進めていくべき。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、「ア 子どもたちが夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力をはぐくむ教育の推進」の取組 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 28 | 支援が必要な児童への対応 | 先生は学習障害の知識がとても低い。 各公立小学校と幼稚園に専門職(作業療法士、言語聴覚士、公認心理士、ソーシャルワーカー等)を配置して、教育現場での支援と地域への支援ができることが望ましい。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、「ア 子どもたちが夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力をはぐくむ教育の推進」の取組 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 28 | 全員制中学校給食の実施について | 中学校の学校給食の早期実現。 市立中学生全員給食を早期に実現してほしい。 学校給食は、中学生でも全員食べられるようにしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、「ア 子どもたちが夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力をはぐくむ教育の推進」の取組 本冊 (p28)、施策一覧 (別紙) に追記 中学校給食の改善に関する内容を含め、本冊 (p35) にコラムを作成 |

| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|--|---|---|
| 29 | <p>学校施設の整備について</p> <p>※ 体育館の空調整備、トイレの改修、学校の空調整備、校舎の老朽化改修</p> | <p>体育館にクーラーをつけてほしいです。学校のグラウンドや設備をよくしてほしい。空調設備の設置も大きな柱であり、そのようなハード面の教育環境についても、明記すべき。小学校の図書委員会の委員ですが、冬に床がとっても冷たく凍えてしまいます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊 (p29) 京都市学校施設マネジメント計画に基づく、学校施設の安全確保、長寿命化改修や防災機能強化」として掲載 施策一覧 (別冊) に追記 |
| 29 | <p>不登校への支援・対応について</p> | <p>低学年の不登校の小学生に向けた居場所づくり、学習支援を考えるべきではないか。不登校に関する記述があまりにも少ない。低学年の不登校に対応する施策がない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊 (p29) 「校内サポータールームの整備と子ども支援コーナーネイターへの配置による不登校児童生徒などへの支援」として掲載 施策一覧 (別冊) に追記 |
| 30 | <p>児童館の老朽化対策について</p> | <p>居場所に児童館や図書館があるけど、どちらも古くて汚い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊 (p30) 「児童館事業や児童館等の老朽化対策、青少年活動センターでの各種事業などによる、子ども・若者が安心して過ごせる居場所の提供」として掲載 施策一覧 (別冊) に追記 |
| 30 | <p>放課後児童支援員の処遇改善について</p> | <p>児童館・学童保育所職員の処遇改善を求めます。 児童館・学童保育所で働く児童厚生員、指導員の処遇改善を。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、本冊 (p34) 「新規の資格取得者の確保や再就職支援を目的としたイベント・研修、教員等の処遇改善など、担い手の確保に関する取組の実施」として掲載 本冊 (p30) で改めてコラムを作成 |



| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|-----------------|---|--|
| 3 1 | 子ども・若者の相談窓口について | 相談できる施設の概要を伝える機会を作ることが相談につながると思う。 子どもでも簡単に相談できるところがわからないから、もっと教えてほしい。 卒業してしまうとその機会が少なくなってしまうとどこに相談したらいのか分からなくなりました。 たくさんの方の大学生たちがいる点など、京都の特徴についても少し触れるべき。 大学生を対象とした施策が見られない。 「大学のまち・きょうと」を打出し。 | <ul style="list-style-type: none"> やさしい版において、相談窓口を取りまとめたページを作成予定 |
| 3 2 | 大学に係る施策について | | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、「イ 若者が持つ多様な力を活かした社会づくり」の取組 本冊 (p32)、施策一覧 (別紙) に追記 |
| 3 3 | アーバンスポーツについて | スケボーのできる公園を増やしていくなどの対応が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> 本冊 (p33) に追記 施策一覧 (別紙) に追記 |
| 3 4 | 地域の子育て支援情報について | 地域の従来の公共スペースとしての寺社仏閣についても何かしらの働きかけがあるとよい。 GOGO土曜塾は、いろんな体験の情報を紹介いただいたので、すぐくよかったです。ぜひ続けてほしい。 地域が関わり子供をみんなで見守るよう、ボランティアの取り組みや募集の広報をしてほしいです。 | <ul style="list-style-type: none"> 京都ならではの多様な学習資源を紹介する「わくわくのトビラ」において、意見に係る内容を紹介している 本冊 (p34)、施策一覧 (別紙) に追記 |
| 3 5 | 中学校給食の改善について | 子ども向けの学校で給食は不人気のように注文しにくい。 給食が小学校と比べて本当においしくなくて親がお弁当を作らざるを得なく。 メニューによってはかなりおいしくないといい点があります。暖かく、自分に合った量の給食を食べたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 全員制中学校給食の実施についても意見が寄せられており、この意見とあわせて、本冊 (p35) にコラムを作成予定 また、やさしい版に改善の方針について記載を検討 |
| 3 6 | 子育て当事者の相談窓口の周知 | 老人や親がいろいろな悩みがあるからお悩み相談室を作ったら親とかの悩んでいる顔を見なくてすむからです。 | <ul style="list-style-type: none"> 内容としては、「(3) 地域子育て支援と家庭教育支援」の取組 施策一覧 (別紙) に追記 |



調整中の項目

| ページ | 意見の概要 | 寄せられた意見例 | 反映方針 |
|-----|---------------|---|--|
| 一 | 自習スペースの設置について | 中学生になると、家以外にも自習できる公共施設が近所にあると嬉しい 図書館で勉強したりずっといられたら嬉しい。 京都市の図書館に自習室を設けてください、、、！！！！ | <ul style="list-style-type: none"> ・直接「自習室」を提供・確保するのは難しい(教育) ・サードプレイスとしての図書館のあり方と、現在の自習スペースに係る施策を施策一覧(別紙)に追記 |